

USストラテジック・インカム・ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

<愛称：債券王>

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年2月26日～2025年8月25日

第144期	決算日：2025年3月24日	
第145期	決算日：2025年4月23日	
第146期	決算日：2025年5月23日	
第147期	決算日：2025年6月23日	
第148期	決算日：2025年7月23日	
第149期	決算日：2025年8月25日	
第149期末 (2025年8月25日)	基 準 価 額	8,045円
	純資産総額	7,295百万円
第144期～ 第149期	騰 落 率	1.0%
	分配金合計	150円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

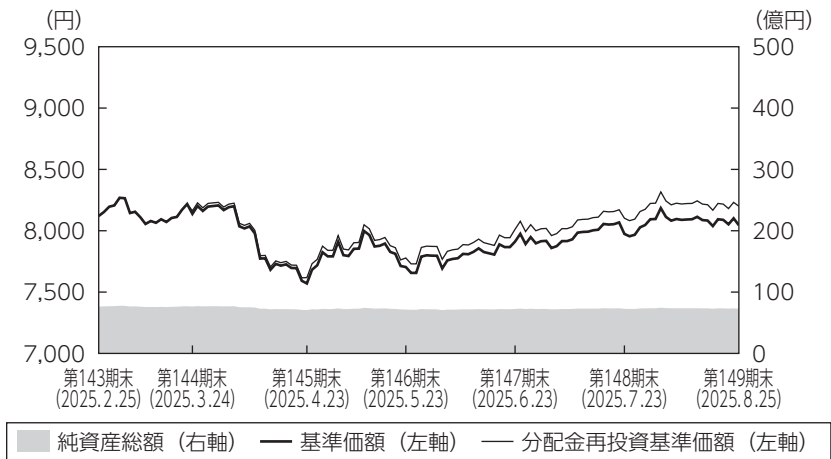
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第144期首： 8,121円
第149期末： 8,045円
（既払分配金150円）
騰 落 率： 1.0%
（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

債券部分は、米国債利回りが低下（価格は上昇）し、信用スプレッドが縮小した環境下、社債や証券化商品などの保有がプラス寄与となりました。為替部分は、米ドルが対円で下落し、マイナス寄与となりました。債券部分のプラス寄与が為替部分のマイナス寄与を上回ったことから、基準価額は上昇しました。

組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス	1.3%
D I A Mマネーマザーファンド	0.2%

(注) D I A Mケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第144期～第149期 (2025年2月26日 ～2025年8月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.402%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,957円です。
(投信会社)	(11)	(0.136)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(19)	(0.245)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.021)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	32	0.403	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

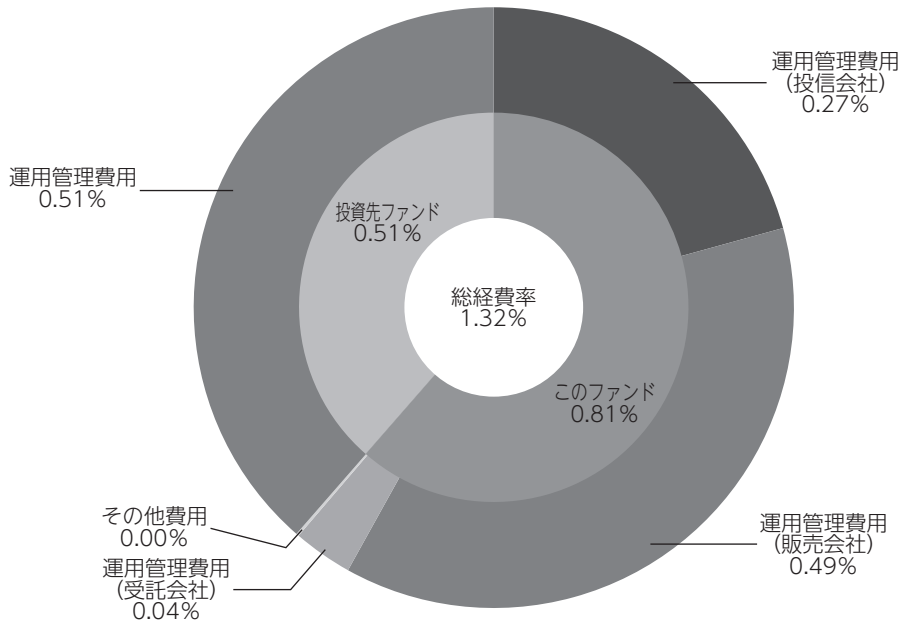
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

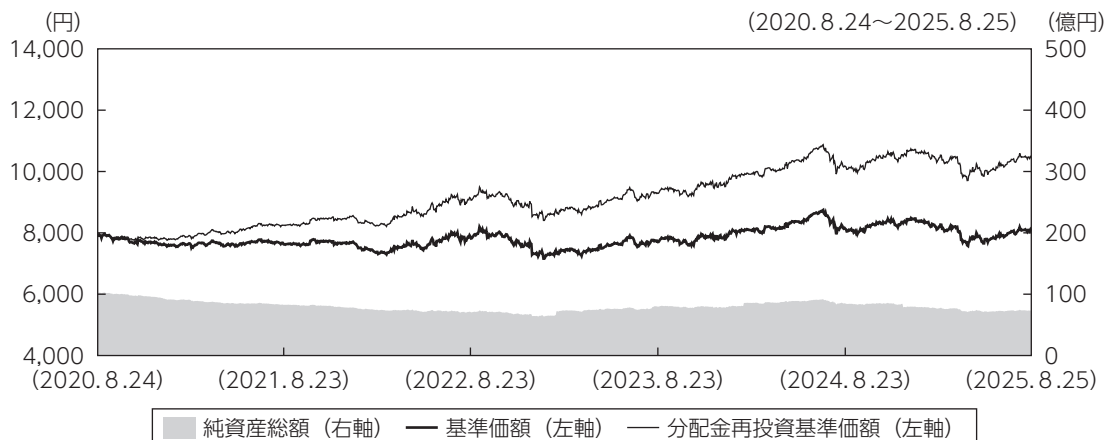
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.32%です。



総経費率（①＋②）	1.32%
①このファンドの費用の比率	0.81%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年8月24日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年8月24日 期首	2021年8月23日 決算日	2022年8月23日 決算日	2023年8月23日 決算日	2024年8月23日 決算日	2025年8月25日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	7,909	7,624	7,873	7,698	8,129	8,045
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	600	525	300	300	300
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	4.3	10.6	1.7	9.6	2.7
純資産総額 (百万円)	10,209	8,240	7,093	7,966	8,473	7,295

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

米国債券市場は10年国債利回りが前作成期末比で低下しました。2025年4月上旬に発表された米政権の大規模な相互関税を受け、貿易摩擦による景気悪化懸念から10年国債利回りは低下しましたが、その後、ムーディーズによる米国信用格付けの引き下げ、米下院が包括的な税制・歳出法案を可決したことから米財政の悪化が警戒されたことなどにより5月下旬にかけて上昇（価格は下落）しました。作成期末にかけては9月の利下げ期待の高まりなどから、10年国債利回りは低下しました。

為替市場では、米ドルが対円で前作成期末比で下落しました。米関税政策を巡る不透明感の高まりやパウエルFRB（米連邦準備理事会）議長の解任観測などからドルの信認低下が意識され、2025年4月にかけて米ドルは対円で下落しました。その後作成期末にかけては、米中貿易交渉の進展により関税が大幅に引き下がったことや日本の参議院選挙における与党の過半数割れに伴う政局の不透明感の高まりなどを受けて米ドルは対円で下落幅を縮小しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは0.2%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスの組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●DIAMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス

米政権の関税政策による景気悪化リスクへの警戒から、2025年4月に国債および現金等の比率を引き上げ、社債と証券化商品の比率を引き下げました。その後、関税を巡る警戒が和らぐのに伴い、社債と証券化商品の比率を若干引き上げ、国債および現金等の比率を引き下げました。前作成期末比では、ハイールド社債、現金等の比率を引き上げ、投資適格社債の比率を引き下げました。また、デュレーション^{*}の長期化を維持しました。

^{*}金利変動に対する債券価格の変動性。

●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2025年2月26日 ～2025年3月24日	2025年3月25日 ～2025年4月23日	2025年4月24日 ～2025年5月23日	2025年5月24日 ～2025年6月23日	2025年6月24日 ～2025年7月23日	2025年7月24日 ～2025年8月25日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.31%	0.33%	0.32%	0.32%	0.31%	0.31%
当期の収益	25円	25円	25円	25円	25円	25円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	2,595円	2,597円	2,602円	2,608円	2,613円	2,618円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●D I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス

米国の継続的なインフレ上昇の可能性は低いと見ています。また景気減速時に利下げが債券市場を下支えする余地がある点は投資家心理にプラスに働くと考えます。利下げに伴うイールドカーブのブルスティープ化（短期金利が長期金利よりも低下し、イールド・カーブの傾きが急になること）のタイミングを見極め、機動的に対応していく方針です。クレジットの見通しは概ねポジティブと見ていますが、短期的な債券市場のボラティリティ上昇に備え、質の高い銘柄を選好しています。今後も機動的に資産配分を調整しながら、元本保全とリスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀は2025年7月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用をめざします。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I AMマネーマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

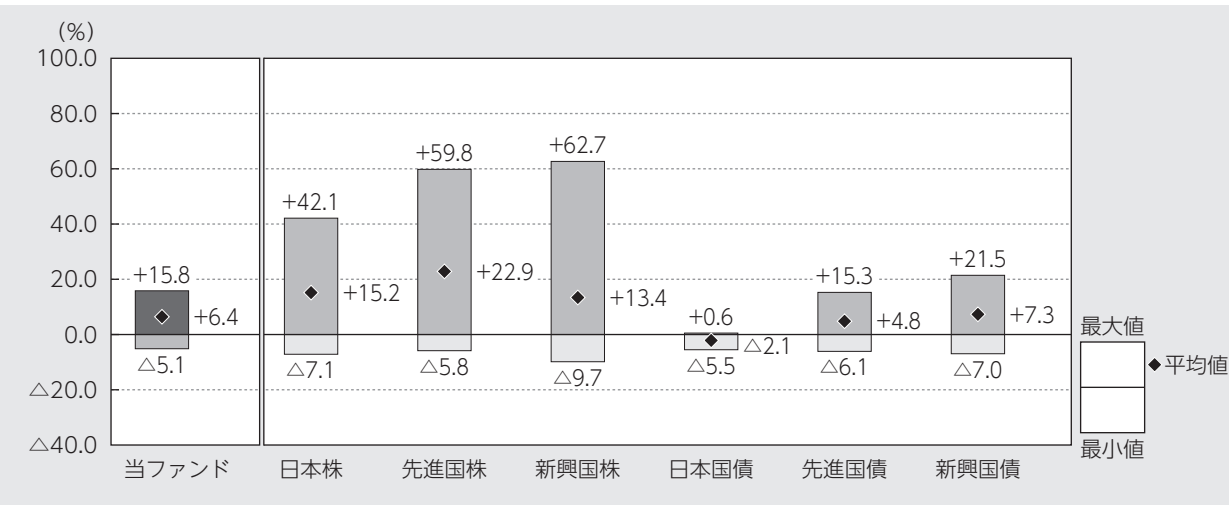
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券
信 託 期 間	2013年3月8日から2028年2月24日までです。
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	円建て外国投資信託である「D I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託であるD I AMマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運 用 方 法	円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資します。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
分 配 方 針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年8月～2025年7月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

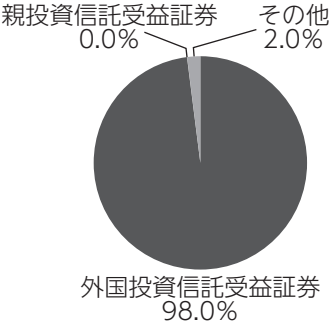
当ファンドの組入資産の内容（2025年8月25日現在）

◆組入ファンド等（組入ファンド数：2ファンド）

	第149期末
	2025年8月25日
D I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス	98.0%
D I AMマネーマザーファンド	0.0
その他	2.0

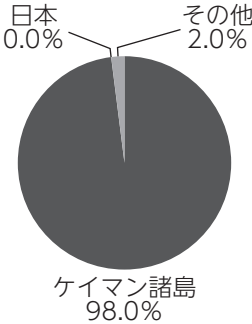
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

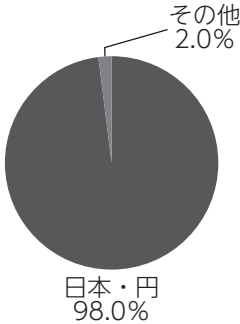


（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

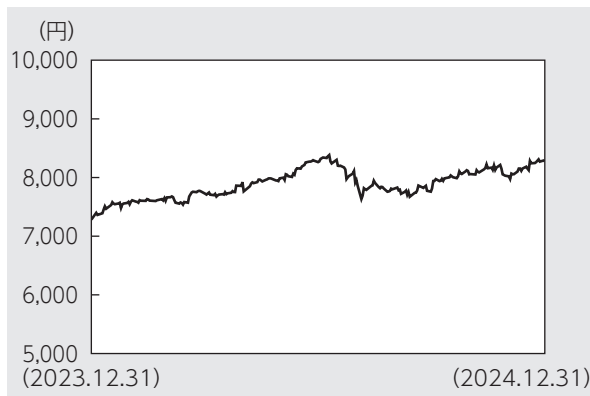
項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2025年3月24日	2025年4月23日	2025年5月23日	2025年6月23日	2025年7月23日	2025年8月25日
純資産総額	7,646,965,982円	7,086,145,025円	7,152,926,988円	7,255,942,353円	7,274,172,538円	7,295,768,335円
受益権総口数	9,396,873,444口	9,360,842,830口	9,284,704,606口	9,172,411,774口	9,121,948,268口	9,069,166,823口
1万口当たり基準価額	8,138円	7,570円	7,704円	7,911円	7,974円	8,045円

（注）当作成期間（第144期～第149期）中における追加設定元本額は71,261,190円、同解約元本額は400,048,829円です。

組入ファンドの概要

[D I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラス] (計算期間 2024年1月1日~2024年12月31日)

◆基準価額の推移



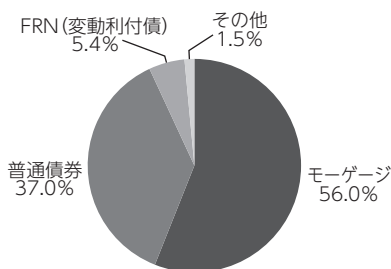
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
UNITED STATES OF AMERICA BDS 4.25% 24-15/11/34	アメリカ・ドル	4.8%
UNITED STATES OF AMERICA BDS 4.25% 24-15/8/54	アメリカ・ドル	3.2
UNITED STATES OF AMERICA BDS 4.625% 24-15/11/44	アメリカ・ドル	2.8
UNITED STATES OF AMERICA BDS 4.25% 24-30/11/29	アメリカ・ドル	2.2
FEDERAL HOME LOAN BANK MTGE 2.5% 20-1/10/50	アメリカ・ドル	2.1
FEDERAL HOME LOAN BANK MTGE 3.5% 18-1/12/47	アメリカ・ドル	1.5
CITIGROUP INC BDS FTV 24-19/11/34	アメリカ・ドル	0.8
FLAGSTAR MTGE TRUST 2021-13IN 13IN A2 MTGE FRN 21-30/12/51	アメリカ・ドル	0.8
CIFC FUND. 2021-VII LTD 7A A1 CLO MTGE FRN 21-23/1/35	アメリカ・ドル	0.7
FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION MTGE 5% 18-1/5/48	アメリカ・ドル	0.7
組入銘柄数	459銘柄	

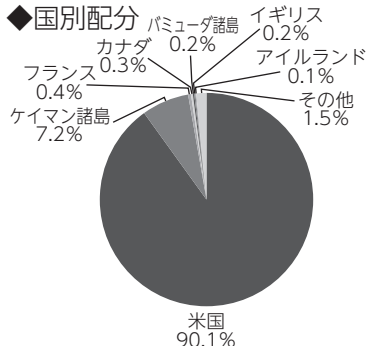
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

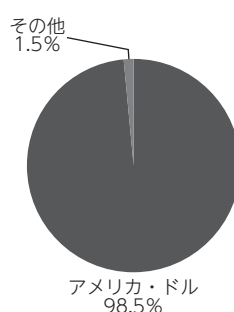
◆資産別配分



◆国別配分



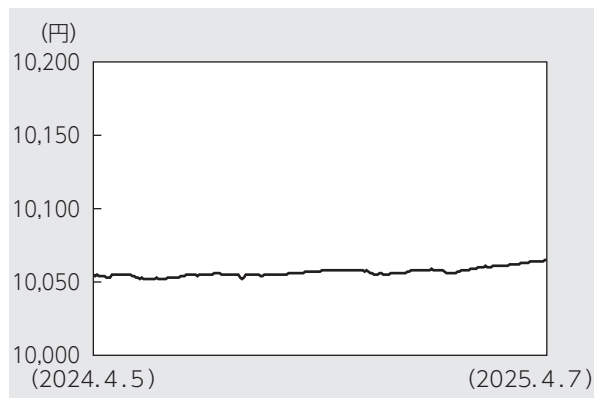
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はD I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジなしクラスの計算期間(決算日が休日の場合は前営業日まで)のものです。また、分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、D I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンドの決算日(決算日が休日の場合は前営業日)現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はD I AMケイマン・ファンドーJanus USコアプラス・ボンド・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。
- (注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるルクセンブルグみずほ信託銀行のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【D I AMマネーマザーファンド】（計算期間 2024年4月6日～2025年4月7日）

◆基準価額の推移



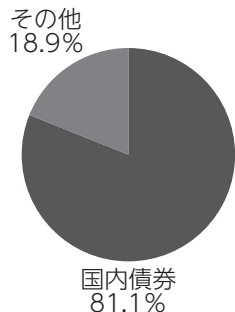
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 8 9回 国庫短期証券	日本・円	12.9%
1 2 8 3回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1 2 6 7回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1 2 9 0回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1 2 9 1回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1 2 8 0回 国庫短期証券	日本・円	7.7
1 2 7 9回 国庫短期証券	日本・円	7.7
4 5 7回 利付国庫債券（2年）	日本・円	5.1
1 2 6 1回 国庫短期証券	日本・円	2.6
1 2 4 4回 国庫短期証券	日本・円	2.6
組入銘柄数	11銘柄	

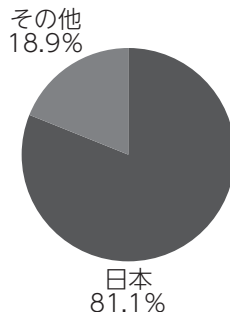
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

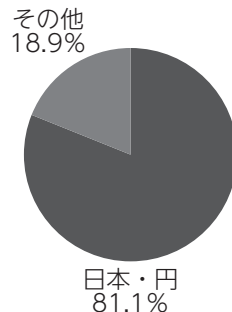
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

